



企画展示のお知らせ

令和6年度 テーマ展その①

多田等観

— 遙かなるチベット —

5月25日(土)～7月7日(日)

秋田出身の^{ただとうかん}多田等観は、世界的に高名なチベット学者です。ダライ・ラマ13世と師弟関係を結び、10年にも及ぶ現地での修行生活の末、チベット仏教に関する膨大な資料を日本にもたらしました。帰国後は請来した仏典の目録を編纂、発行し、世界のチベット学会や仏教学会に多大な影響を与えました。

本展では、現代の三蔵法師とも言うべき偉業を成し遂げた等観が、日本にもたらした資料を通して功績を顕彰するとともに、等観と深く関わった花巻の人々との交流についてご紹介します。



ぶつちょうそんしょうも
仏頂尊勝母

チベット仏教における^{はっぴ}三面八臂(八本の腕)の女神。等観の帰国に際して、ダライ・ラマ13世から下賜されたもの。

展示構成

- 第1章…「チベットへ」
- 第2章…「等観が見たチベット」
- 第3章…「美しきチベットの仏」
- 第4章…「チベット仏教の金字塔」
- 第5章…「花巻での日々」

←等観がチベットで修行していたころのポタラ宮殿(ダライ・ラマの居城だったところ)。現在は世界遺産として名高い。

関連事業のお知らせ

- ・学芸員講座……………6月9日(日) 13:30～15:00
※要予約、聴講無料 テーマは「多田等観と『釈迦牟尼世尊絵伝』」
- ・ギャラリートーク…6月1日(土)、7月7日(日) 13:30～14:30
※申込不要、入館料必要

「チベット」とは…地図上はインドやネパールの北側に位置していて、現在は中華人民共和国の一部(チベット自治区)となっています。

裏面に続く

博物館主催のワークショップのお知らせ

5月の連休中に、①勾玉づくり、②ぬり絵掛軸づくり、③縄文弓矢・火起しのワークショップを行いました。参加した小中学生の皆さんは、最後まで粘り強く、楽しく活動していました。

今後のワークショップは次の通りです。

- ④鍛冶丁焼づくり 10/20(日)
- ⑤台焼づくり 11/17(日)
- ⑥ミニチュア土器づくり 12/ 8(日)
- ⑦花巻人形絵付け 3/23(日)

- ※いずれも 13:30 開始です
- ※1か月前から予約可能です
- ※申込が必要です(先着順)
- ※料金が必要です(活動により差異あり)



5/3①勾玉づくり体験の様子 ↑



5/4②ぬり絵掛軸づくり体験の様子 ↑



↑ 5/5③縄文弓矢・火起し体験の様子 →



博学連携事業 新規内容(概要) のお知らせとお願い

ふくろう第243号(3月号)でお知らせしていた、博学連携事業の要項と内容の見直しが終了しました。年度を越えてしまったことで、各校の計画に支障をきたすことになってしまいました。本当に申し訳ありませんでした。

新しい要項と内容は今月の校長会議で提示させていただきました。今後、各学校にもお送りします。内容の大きな変更点は、①昨年度まで年度交代で委員8名を選抜して行っていた「研究委員会」は実施せず、②全学校を対象に行っていた「研修会」の内容を深めて「研究会」とし、③小中学校別に年2回ずつ行うとしたことです。

ただし、多忙な学校現場に鑑み、学校の都合優先で欠席することがあってもよい、と考えています。無理はしないでください。

なお、各校1名の研究員の先生には、見学と出前授業の改善点や連携方法等について、無理のない範囲で考えていただく予定です。ご協力くださいますようお願いいたします。



★第1回研究会は、小…7/1月、中…7/2火各15:00開始です。学期末の忙しいときの開催でごめんなさい…。ご協力をお願いします。